

【第2分科会】福山市立引野小学校

アクティブラーニングを支える「引野まるごと学校図書館」 ～学校図書館の利活用を促す環境整備～

I 本校がめざす学校図書館

本校では、広島県子供の読書活動推進計画（第三次）に基づき、児童が読書習慣を身につけ、「学びの場」として利活用できる学校図書館をめざしている。図書館だけでなく校内のさまざまな場所に読書コーナーを設け、本を読む機会を増やし、読書好きな児童を増やすことをねらいとし、読書環境の整備を進めている。

また、各教科等における言語活動や調べ学習等、図書を活用した授業を積極的に展開している。図書館年間計画に、図書館の活用方法、各教科における活用図書を一覧表にして体系化し、6年間継続的に学校図書館を利活用することで、学習活動の充実を図りたいと考えている。教育活動全体で読書活動とリンクさせ、図書館を「学びの場」として利活用を行っている。

II 学校図書館を核としたアクティブラーニングの推進

子どもたちの読書・学習活動の充実を図るために学校図書館の担う役割は大きい。本校においても、昨今の学校図書館に求められている①子どもたちの読書活動や読書指導の拠点としての「読書センター」、②学習活動を支援する「学習センター」、③情報活用能力を育成する「情報センター」としての3つの機能の充実を進めている。と同時に、すべての教育活動でアクティブラーニングを視野に入れた授業を推進し、さまざまな分野の図書と関わらせることで、主体的・対話的で深い学びの実現を目指している。学校図書館が、学校における言語活動や探究活動の中核として機能する場としたい。

III 取組の実際

- (1) 本に親しむ
 - ① イベントお話し会
 - ② 地域連携
 - ③ 図書日より
- (2) たくさん読む
 - ① 読書タイム（昼読書）
 - ② 先生の読み聞かせ
 - ③ 読書チャレンジ
 - ④ 図書委員会の活動
- (3) 目的に応じて読む

《カリキュラムマップと連動した図書指導》

 - ① 国語科との関連
 - ② 教科領域との関連
- (4) 本から学び自らの考えを深める
 - ① 各種コンクールへの応募
 - ② 「総合的な学習の時間」発表会
- (5) 環境整備
 - ・蔵書のデータベース化
 - ・季節、テーマごとの展示
 - ・配架の工夫
 - ・NIE コーナー
 - ・本の活用法の掲示
 - ・先生のおすすめの本の展示
 - など

IV 今後に向けて

今後はさらに、学校図書館としての機能を児童が活用できるよう、環境整備や指導の充実を図り、児童の「読みたい」「知りたい」「伝えたい」を応援する学校図書館を目指していきたい。